

新病院建設に向けて

地域完結型の  
中核病院を目指して



4月から東海市民病院と知多市民病院は経営を統合し、知多半島の北西部地域に求められる医療の確保・充実に向け、新病院建設を進めています。

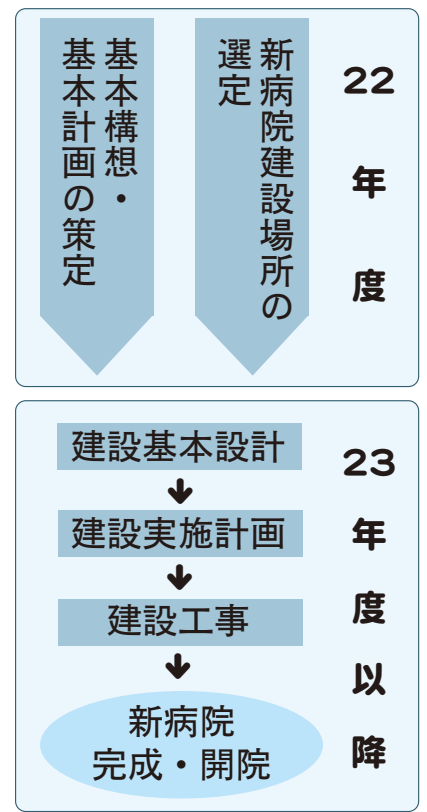
なぜ新病院の建設が必要なのでしょう  
か



東海市民病院と知多市民病院は、医療体制の充実と経営改革に努めてきました。しかし、医師の新臨床研修制度の影響に伴う勤務状況の悪化などにより、常勤医師が不足し、診療科の休止や救急医療体制の低下、

経営の悪化など深刻な状況となり、それぞれの病院単独での努力では今の医療機能を維持していくのは限界となっています。そのため、両市民病院をひとつに統合し、市民や医療従事者にとって魅力ある新病院をつくることにより、市民の皆さんにとって将来にわたり安心できる医療を確保することを目指しています。

新病院建設までの流れ



**本年度の作業**  
本年度は、新病院の建設場所の選定作業を進めるとともに、新病院の機能や規模など目指すべき将来像を示す基本構想と基本計画を

基本構想

基本構想は、新病院がこの地域においてどのような役割を担い、どのような医療機能を持つべきかや新病院の病床数などを定め、新病院建設に向けた基本的な方針を決めるものです。

- 基本構想の主な内容
- 新病院の将来像
- 基本理念
- 基本方針
- 新病院の規模 など

基本計画

基本計画は、基本構想を実現するため、新病院の具体的な医療機能や施設計画を決めるものです。

- 基本計画の主な内容
- 全体計画
- 部門別計画
- 医療機器整備計画
- 建設計画
- 設計と条件（建築設計を行うときにこの条件に基づいて設計）
- 収支計画（将来にわたり、新病院が効率的・効果的に運営できるように計画を立てる）など

基本構想・基本計画の策定手順

◎東海市・知多市の現状を調査  
市民の受療動向、救急搬送状況などの外部環境調査や東海市民病院・知多市民病院の受診状況、利用者などへのアンケート、経営状況などの内部環境調査を実施し、それらの調査結果を反映して、新病院の目指すべき姿を検討していきます。

◎懇話会を設置  
策定過程において、様々な方

らの意見や助言をいただくために「医療懇話会」、「地域懇話会」を設置しました。

「医療懇話会」は、両市の地域医療を担う医師会や歯科医師会、薬剤師会と関係大学病院など、それぞれの代表者が参加し、医療に関する専門的な観点からの意見や助言を提言していただきます。

「地域懇話会」は、町内会・自治会や小・中学校PTAなど両市の地域の代表者が参画し、病院利用者の視点から新病院の院内や院外の快適性を高める機能に関する意見を提言していただきます。

問い合わせ先

西知多医療厚生組合  
経営企画課・新病院建設課

- 住所  
〒478-8640 知多市新知字永井2-1  
(知多市民病院内)
- 電話 0562-55-1155
- FAX 0562-55-1291
- ホームページ  
<http://www.medias.ne.jp/~n-kousei/>

基本構想・基本計画の策定

